

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和2年度）

都道府県名 福井県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績（円）	うち交付金相当額（円）	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導農業者数 15経営体	15	100%	A	99,000	99,000	令和2年度 目標達成済み
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAP認証の取得等経営体数 1経営体	0	0%	D	0	0	令和2年度、3年度、 4年度、5年度及び6 年度目標未達成
<p>事業の成果</p> <p>GAP認証取得に関心のある農家やGAPの実践による経営改善が必要な農家に対して、各農林総合事務所等の普及指導員がJGAP指導員（畜産）と協力して指導したが、GAP認証取得にまでは至らなかった。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>畜産GAP認証等の取得経営体数の目標に対する取組は未達であった。</p> <p>令和6年度は、県畜産関係者のJGAP指導員と普及指導員が畜産GAP取得に意欲のある坂井地区の若狭牛肥育農家に対し、畜産GAP認証等の取得に向け、現地指導を含む指導（労働安全、食品安全、環境保全、農場経営管理、人権保護の取組を改善するもの）を行ったが、飼料価格高騰や枝肉価格の低迷など肉用牛を巡る状況は引き続き厳しいため前向きになれず、認証取得はできなかった。このため、目標は達成できず「D」評価とした。</p> <p>今後も引き続き、畜産GAP取得に意欲のある若狭牛肥育農家を中心に、GAP取組みの重要性について説明を行い、GAP認証取得へと誘導していく。また、その他の畜産農家に対しては、随時GAPに関する情報を提供するほか、県流通販売課および各農林総合事務所と連携し、現場での具体的な改善事例を示すなど、GAPに対する意識醸成が図られる指導を継続していく。</p>							
<p>国による評価</p> <p>令和2年度事業の令和6年度における改善計画に基づく取組の再評価については、未達であった。</p> <p>JGAP指導員と普及指導員が連携したGAP指導体制でGAP認証取得に誘導したが、飼料価格高騰により資金繰り対策等、経営の安定化支援・指導を優先して行ったことから、十分な活動ができず認証取得までには至らなかった。</p> <p>このため、成果目標達成に向け、終期を令和7年度とした改善計画の提出を指導する。</p>							

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 富山県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績（円）	うち交付金相当額（円）	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導農業者数 8経営体	18	225%	A	361,284	361,284	令和3年度 目標達成済み
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAP認証等の取得等経営体数 1経営体	0	0%	D	0	0	令和3年度、4年度、5年度及び6年度目標未達成
<p>事業の成果</p> <p>I：令和6年度は、普及指導員が中心となった認証取得に向けた支援体制に加えて、令和5年度に認証取得した県立中央農業高等学校にも取組事例を紹介する活動を担ってもらおう等、パイロット経営体として連携協力してもらおうことで、効率的かつ効果的な指導に努めた。県内の畜産農家に対して畜産GAPに対する理解醸成と普及啓発を実施し、GAP認証取得を促した。</p> <p>II：畜産GAP認証取得に関心のある経営体（立山町の肉用牛農家1戸）をパイロット経営体として位置づけ、指導員及び関係機関が連携し、認証取得に向け指導したが令和6年度中の認証取得には至らなかった。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>II：畜産GAP認証取得に関して、Iにより理解醸成に努めたが、対象経営体においては飼料価格等の高騰などにより自給飼料生産に優先的に取り組む必要があったことから十分な活動ができず、実績は0であった。このため、畜産GAP認証取得等の取得経営体数の目標は達成できなかったことから「D」評価としている。</p> <p>今後は、経営状況をみながら、関係機関と連携し継続的に指導を行うとともに、他の畜産GAP認証取得に関心を持っている経営体にもGAP認証取得へと誘導する方針である。</p>							
<p>国による評価</p> <p>II：令和3年度事業の令和6年度における改善計画に基づく畜産GAP認証の取得経営体数の目標に対する取組の再評価については、未達であった。広域普及指導センター等関係機関や令和5年度に認証取得した県立中央農業高等学校と連携し指導したものの、飼料価格等の高騰により資金繰り対策等、経営の安定化支援・指導を優先して行ったことから、十分な活動ができず認証取得までには至らなかった。このため、成果目標達成に向け終期を令和7年度とした改善計画の提出を指導する。</p>							

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 福井県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績（円）	うち交付金相当額（円）	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導農業者数 10経営体	12	120%	A	49,500	49,500	令和3年度 目標達成済み
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAP認証の取得等経営体数 1経営体	0	0%	D	0	0	令和3年度、 4年度、5年度及び6 年度目標未達成
<p><b>事業の成果</b></p> <p>GAP認証取得に関心のある農家やGAPの実践による経営改善が必要な農家に対して、各農林総合事務所等の普及指導員がJGAP指導員（畜産）と協力して指導したが、GAP認証取得に至らなかった。</p>							
<p><b>都道府県による評価</b></p> <p>畜産GAP認証等の取得経営体数の目標に対する取組は未達であった。</p> <p>令和6年度は、県畜産関係者のJGAP指導員と普及指導員が畜産GAP取得に意欲のある奥越地区の酪農家に対し、畜産GAP取得に向け、現地指導を含む指導（労働安全、食品安全、環境保全、農業経営管理、人権保護の取組を改善するもの）を行ったが、飼料費や資材費の高騰など酪農を巡る状況は引き続き厳しいため前向きになれず、認証取得に向けた取り組みに誘導することはできなかった。このため、目標は達成できず「D」評価とした。</p> <p>今後も引き続き、畜産GAP取得に意欲のある酪農家を中心に、GAP取組みの重要性について説明を行い、GAP認証取得へと誘導していく。また、その他の畜産農家に対しては、随時GAPに関する情報を提供するほか、県流通販売課および各農林総合事務所と連携し、現場での具体的な改善事例を示すなど、GAPに対する意識醸成が図られる指導を継続していく。</p>							
<p><b>国による評価</b></p> <p>令和3年度事業の令和6年度における改善計画に基づく取組の再評価については、未達であった。</p> <p>JGAP指導員と普及指導員が連携したGAP指導体制でGAP認証取得に誘導したが、飼料価格高騰により資金繰り対策等、経営の安定化支援・指導を優先して行ったことから、十分な活動ができず認証取得までには至らなかった。</p> <p>このため、成果目標達成に向け、終期を令和7年度とした改善計画の提出を指導する。</p>							

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和4年度）

都道府県名 富山県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績（円）	うち交付金相当額（円）	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導農業者数 5経営体	5	100%	A	251,646	251,646	令和5年度目標達成済み
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAP認証等の取得経営体数 1経営体	0	0%	D	0	0	令和4年度、5年度及び6年度目標未達成
<p>事業の成果</p> <p>I：令和6年度は、普及指導員が中心となった認証取得に向けた支援体制に加えて、令和5年度に認証取得した県立中央農業高等学校にも取組事例を紹介する活動を担ってもらう等、パイロット経営体として連携協力してもらうことで、効率的かつ効果的な指導に努めた。県内の畜産農家に対して畜産GAPに対する理解醸成と普及啓発を実施し、GAP認証取得を促した。</p> <p>II：畜産GAP認証取得に関心のある経営体（氷見市の肉用牛農家1戸）をパイロット経営体として位置づけ、指導員及び関係機関が連携し、認証取得に向け指導したが令和6年度中の認証取得には至らなかった。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>II：畜産GAP認証取得に関して、Iにより理解醸成に努めたが、対象経営体においては飼料価格等の高騰に対応した飼養管理技術の見直しなど、技術改善に優先的に取り組む必要があったことから十分な活動ができず、実績は0であった。このため、畜産GAP認証取得等の取得経営体数の目標は達成できなかったことから「D」評価としている。</p> <p>今後は、経営状況をみながら、関係機関と連携し継続的に指導を行うとともに、他の畜産GAP認証取得に関心を持っている経営体にもGAP認証取得へと誘導する方針である。</p>							
<p>国による評価</p> <p>II：令和4年度事業の令和6年度における改善計画に基づく畜産GAP認証の取得経営体数の目標に対する取組の再評価については、未達であった。広域普及指導センター等関係機関や令和5年度に認証取得した県立中央農業高等学校と連携し指導したものの、飼料価格等の高騰に対応した飼養管理技術の指導を優先的に行ったことから十分な活動ができず認証取得までには至らなかった。</p> <p>このため、成果目標達成に向け終期を令和7年度とした改善計画の提出を指導する。</p>							

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和5年度）

都道府県名 富山県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績（円）	うち交付金相当額（円）	
I 畜産GAP指導活動の推進	畜産GAP指導農業者数 7経営体	10	142%	A	469,489	469,489	令和5年度 目標達成済み
II 畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAP認証等の取得経営体数 1経営体	0	0%	D	237,273	237,273	事業実績額は令和2年度目標分の支出支出 令和5年度、6年度目標未達成
<p>事業の成果</p> <p>I：令和6年度は、普及指導員が中心となった認証取得に向けた支援体制に加えて、令和5年度に認証取得した県立中央農業高等学校にも取組事例を紹介する活動を担ってもらおう等、パイロット経営体として連携協力してもらおうことで、効率的かつ効果的な指導に努めた。県内の畜産農家に対して畜産GAPに対する理解醸成と普及啓発を実施し、GAP認証取得を促した。</p> <p>II：畜産GAP認証取得に関心のある経営体（高岡市の養鶏農家1戸）をパイロット経営体として位置づけ、指導員及び関係機関が連携し、認証取得に向け指導したが令和6年度中の認証取得には至らなかった。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>II：畜産GAP認証取得に関して、Iにより理解醸成に努めたが、鳥インフルエンザ対策のため外部から農場内への立ち入りを必要最低限とした対策により畜産GAPについての指導機会が減ったうえ、対象経営体においては能登半島地震により被害を受けた畜舎設備の復旧のための資金や飼料価格等の高騰などによる運転資金調達への対応に優先的に取り組む必要があったことから十分な活動ができず、実績は0であった。このため、畜産GAP認証取得等の取得経営体数の目標は達成できなかったことから「D」評価としている。</p> <p>今後は、経営状況や地震からの復旧状況をみながら、関係機関と連携し継続的に指導を行うとともに、他の畜産GAP認証取得に関心を持っている経営体にも、GAP認証取得へと誘導する方針である。</p>							
<p>国による評価</p> <p>II：令和5年度事業の令和6年度における改善計画に基づく畜産GAP認証の取得経営体数の目標に対する取組の再評価については、未達であった。</p> <p>広域普及指導センター等関係機関や令和5年度に認証取得した県立中央農業高等学校と連携し指導したものの、鳥インフルエンザ予防のため外部から農場内への立ち入りを必要最低限とした対策により畜産GAPについての指導の機会が減ったうえ、対象経営体においては能登半島地震により被害を受けた畜舎設備の復旧のための資金や飼料価格等の高騰などによる運転資金調達への対応に追われたことなどから認証取得までには至らなかった。</p> <p>このため、成果目標達成に向け終期を令和7年度とした改善計画の提出を指導する。</p>							